学校番号	２１０１

平成３１年度　数学科

教科	数学	科目	数学Ｂ	単位数	２単位	年次	全年次
使用教科書	「数学Ｂ　Advanced」　（東京書籍）						
副教材等	準拠問題集「PRIME　数学Ⅱ＋Ｂ」　（東京書籍）						

１　担当者からのメッセージ（学習方法等）

・授業では、課題に対して、みずから考え、周りの人と協働で考える活動を行います。
・「課題を理解する→結果を予想する→解決の方向を構想する→解決する→解決の過程を振り返ってよりよい解決を考える」といった一連の過程で、自分の考えを発表したり、議論したりする活動を行います。

２　学習の到達目標

数列，ベクトルについて理解させ，基礎的な知識の習得と技能の習熟を図り，事象を数学的に考察し表現する能力を伸ばすとともに，それらを活用する態度を育てる。

３　学習評価(評価規準と評価方法)

観点	a:関心・意欲・態度	b:数学的な見方や考え方	c:数学的な技能	d:知識・理解
観点の趣旨	数列またはベクトルに関心をもつとともに，それらを事象の考察に活用して数学的論拠に基づいて判断しようとする。	事象を数学的に考察し表現したり，思考の過程を振り返り多面的に考えたりすることなどを通して，数列またはベクトルにおける数学的な見方や考え方を身につけている。	数列またはベクトルにおいて，事象を数学的に表現・処理する仕方や推論の方法などの技能を身につけている。	数列またはベクトルにおける基本的な概念，原理・法則などを体系的に理解し，知識を身につけている。
評価方法	確認テスト 単元テスト ワークシート 観察等	単元テスト 定期テスト ワークシート 観察等	確認テスト 単元テスト 定期テスト 観察等	確認テスト 単元テスト 定期テスト 観察等

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。
学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4　学習の活動

学期	単元名	学習内容	主な評価の観点				単元(題材)の評価規準	評価方法
			a	b	c	d		
中間考査まで	数列	1節　数列 数列 等差数列 等差数列の和 等比数列 等比数列の和 和の記号Σ いろいろな数列 2節　漸化式と数学的帰納法 漸化式 数学的帰納法	 ○ ○ ○ ○ ○	 ○ ○ ○ ○ ○	 ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○	 ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○	a: いろいろな数列に関心をもつとともに，その規則性を表現することのよさを認識し，事象の考察に活用しようとしている。 b: 数列の規則性や一般項，和を考察し表現したり，その過程を振り返ったりすることなどを通して，数学的な見方や考え方を身につけている。 c: 数列の一般項や和を求めたり，数学的帰納法を用いて命題を証明したりすることができる。 d: 数列の一般項や和，漸化式，数学的帰納法の基本的な概念，性質を理解し，知識を身につけている。	確認テスト 単元テスト ワークシート 観察等
期末考査まで	ベクトル	1節　平面上のベクトル ベクトルの意味 ベクトルの加法・減法・実数倍 ベクトルの成分 ベクトルの内積 2節　ベクトルの応用 位置ベクトル ベクトル方程式 3節　空間におけるベクトル 空間座標 空間におけるベクトル 位置ベクトルと空間の図形	 ○ ○ ○ ○ ○ ○	 ○ ○ ○ ○ 	 ○ ○ ○ ○ ○ ○	 ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○	a: ベクトルに関心をもつとともに，それらの有用性を認識し，事象の考察に活用しようとしている。 b: 事象をベクトルを用いて考察し表現したり，思考の過程を振り返ったりすることなどを通して，数学的な見方や考え方を身につけている。 c: 事象をベクトルを用いて表現・処理する仕方や推論する方法などの技能を身につけている。 d: 事象をベクトルを用いて表現・処理する仕方や推論する方法などの技能を身につけている。	確認テスト 単元テスト ワークシート 観察等

※　表中の観点について　a:関心・意欲・態度　　b:数学的な見方や考え方
c:数学的な技能　　d:知識・理解